

2020年10月15日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

北海道の次の150年を見据えた
「観光サービス」「建設」「災害対策」ビジネスに関する展示会
『NEXT 150 北海道プロジェクト』
アクセスサッポロにて10月28日(水)から2日間開催

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2020年10月28日(水)、29日(木)の2日間、アクセスサッポロ(札幌市白石区)で、「NEXT150 北海道プロジェクト」を冠した事業を開催します。本プロジェクトは2018年にスタートし今年で3回目となる「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2020」に、今回が初開催となる「北海道 都市開発・建設総合展 2020」と「災害リスク対策推進展 北海道」を加えた3つの展示会で構成されます。

北海道では2018年に命名150周年という節目を迎えました。あらゆる環境が劇的に変化していく中、北海道が次の150年に向け持続的に発展していくためには、現状の課題解決やビジネスモデルに限らず、長期的な視点と発想、技術革新が求められます。そこでJMAでは、北海道がさらに一段高い、次のステージに移行するためのヒントやリソースが集結する、3テーマのビジネス展示会を開催します。

北海道経済を支える観光サービス・ホスピタリティ産業の関係者が一堂に集結する展示会をベースに、人口200万人を擁する札幌市を中心に進む都市開発計画と建設業関係者のビジネス機会を創出します。更に近年地震や台風、その他自然災害が及ぼす深刻な影響により、注目されている事前防災・減災、インフラ整備をテーマとした商談展示会を合同開催することで、相互に関係する産官学民のマッチングを後押しします。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界中にあらゆる影響が出ています。一方、国内ではGo to トラベル/イートがスタートするなど、with コロナを前提としたニューノーマルを確立する動きも見られます。特に北海道においては、観光産業の需要喚起、都市部の再開発、自然災害への備えなど、感染症対策と地域経済のV字回復を実現する効果的で即効性のあるソリューションが求められています。本プロジェクトは、ポストコロナもさることながら、次の150年を予測し今すべきことに対しビジネスの側面からアプローチできる場を目指しています。

また、テレワークやオンラインを活用した商流も盛んですが、今こそ“リアルな場”での商談や意見交換の有効性も再認識されています。本展示会では、3密を避けるためにも新たな運営ガイドライン（3密を防ぐためできる限りの換気を行う、オンライン事前入場システムを導入し、参加者同士のソーシャルディスタンスを確保する運営を行う、入場の際はマスクの着用を義務付ける、など）を設け、出展者、来場者の感染拡大防止策も万全に実施します。

現在、公式ホームページ（「NEXT150 北海道」で検索または、<http://www.jma.or.jp/hafp/nxt150hkd/>）にて来場事前登録を受付中です。

【本件に関する問合せ先】 NEXT150 北海道プロジェクト事務局（担当：田中）
一般社団法人日本能率協会 産業振興センター TEL: 03-3434-3453
〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

※取材のお問合せは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：田部）へお願いいたします。

開催概要、本展のみどころは次頁をご覧ください。

■開催概要

展示会名：NEXT150 北海道プロジェクト

「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2020」／「北海道 都市開発・建設総合展 2020」／
「災害リスク対策推進展 北海道」

開催期間：2020年10月28日（水）・29日（木）9:30～16:30

会場：アクセスサッポロ（札幌市白石区）

主催：一般社団法人日本能率協会

出展規模：65社／90ブース（2020.10.15 現在）

入場者数：6,000名（3展合計、予定）



■注目コンテンツ①

※敬称略

「北海道次の150年の風景」--ヒントとリソースで考える未来予測--

○日時：2020年10月28日（水）AM10:30～12:00

○会場：会場内「主催者セミナー」ステージ

○定員：100名（無料・要聴講事前登録）

○パネラー：

- ・山本 強（北海道大学 産学・地域協働推進機構 特任教授）
- ・土屋 努（北海道大学 客員教授・株式会社セラフ 会長）
- ・樋泉 実（北海道大学 客員教授・電通総研フェロー・HTB 相談役）
- ・小川 和也
（北海道大学 客員教授・グランドデザイン株式会社 代表取締役社長）



○シンポジウム概要

北海道の150年は国土の22%という広さと厳冬期を抱える気象条件の厳しさなどハンデとの闘いでもありました。一方で、進行中の社会のデジタル化、ソサエティ 5.0 化は、このハンデを逆にチャンスに変えることができる技術革新でもあり、課題が明確な北海道だから出来る分野が数多くあります。

これまでの150年のキーワードは「開発」でしたが、次の150年は「未来の創造」です。北海道は広義の資源・リソースがたくさんあります。それをどう活用して未来を創造するかのビジョンが求められています。北海道大学では「北海道の新たな150年を考える」をテーマにして、産・学・官が議論するシンポジウムシリーズ「北海道150シンポジウム」を昨年発足しました。その発起人らが、それぞれの専門分野からのヒントと北海道のリソースを掛け算することで、北海道の次の150年を未来予測します。

■注目コンテンツ②

※敬称略

「観光事業者にとっての防災・減災業務を考える」

○日時：2020年10月28日（水）14:30～16:30

○会場：会場内「主催者セミナー」ステージ

○定員：100名（無料・要聴講事前登録）

○主催（共催）：公益財団法人はまなす財団 新観協研

○座長：

- ・北海道大学観光学高等研究センター 准教授 石黒 佑介

○事例発表者：

- ・東北大学災害科学国際研究所 准教授 佐藤 翔輔



○講演概要

観光地域づくりの推進組織である道内の観光協会が集い、地域の持続的発展を牽引する新たな実践策を議論する公開型研究会を開催します。

「そもそも」防災・減災とは何かという枠組みを提示した上で、観光事業者がどのように備えるべきかを議論・提示します。あわせて観光事業者が被災した事例、観光者の備え・認識の実態、被災した地域の観光事業のその後、など実事例などを共有します。

■注目出展企業

テーマ：「観光サービス」



様々な目的に対応した プライベートリゾート空間を実現

マリントピアリゾート (ブース：K-18)は、各都道府県にて遊休地等を利用したグランピング施設の開業支援、既存施設の集客支援を行っています。遊休地の有効活用を望む自治体、施設担当者へ、施設レイアウト、役所折衝支援、集客サイト作成、運用・運営ノウハウ支援、予約獲得、集客支援などを紹介します。



ソフトバンクロボティクスの 業務用おそうじロボット Whiz も展示

ダスキン北海道地域本部 (ブース：K-20)は、衛生除菌に関わるお困りごとをあらゆるシーンにおいてさまざまな角度からお手伝いします。業務用おそうじロボット Whiz のほか、厨房衛生マネジメント、害虫駆除、HACCP 対応サポートといったサービスをご紹介します。



検温機能付き入退場ゲートシステム

ウィルス感染のリスクを減らすための新型機

Fujitaka(ブース：K-23)は、観光施設等での使用を想定した 3 密を回避する新型コロナウイルス感染拡大対策製品として、省スペース型喫煙ブースやタッチパネル式券売機、キャッシュレス券売機、検温機能付き入退場ゲートをご紹介します。

テーマ：「都市開発・建設」



危険を伴う階段の運搬作業を機械化・自動化し 安全にスピーディに

エクセン (ブース：T-20)は、建設現場などにおける重量物の運搬を機械化し、最大 500kg までの荷物を積載した状態で 40°までの階段/傾斜を昇降することが可能なバッテリー式階段昇降運搬台車などを展示します。



産業用ドローンの能力を飛躍的に向上させる自律制御と 3D レーザーマッピング・ペイロード

みるくる (ブース:T-15)は、三次元レーザー計測や全方位衝突回避、非 GPS 環境での自律飛行の機能を持ち、これまで不可能だった様々なドローンによる処理を可能とする Hovermap を展示します。GPS のないチャレンジングな環境でも安全なドローン飛行が可能となります。

テーマ：「災害対策」



**アウトドアやイベントにも利用可能
災害時における緊急避難所の新しいカタチ**

ユニットプロモーション/三和物流サービス レントール事業部 (ブース:S-05)は、完全 DIY 型ドームハウスで安心なプライベート空間をつくる「イージードームハウス」を展示。また、電源を自給自足する「ポジモ」や、実際に消火器を持って行い消火器の使い方や使用時の注意事項も一緒に学べる新しい消火訓練「VR 消火器体験」をご紹介します。



**防災関連用品・消防関連用品・自衛隊関連用品の
事ならお任せを**

ムラカミ (ブース:S-13)は、最近の異常気象による風水害及び地震などの災害発生に備える対策ソリューションをご提案。胆振東部で体験したブラックアウトを想定した停電対策、コロナ渦での感染症対策製品をご紹介します。



**1935年(昭和10年)創業
長期保存食を製造・販売する食品メーカー**

尾西食品 (ブース:S-01)は、誰にでも安心して食べていただけるようアレルギー物質28品目不使用の商品やイスラム圏の方々向けハラール認定商品、ごはん、おかゆ、めん、パンなど5年の長期保存可能な商品を多数取り揃えています。